

「現成受容」

起きたことを素直に受け入れ、
自分が持っている力を発揮していく。
精一杯生きる。一人の人間として、
そして、経営者として生きる我々に、
大いに参考になりました。



第50年度 12月例会 演題「生きる」～禅の伝統と創造～

講師 正眼寺 住職 山川宗玄 老師

とき 平成27年 12月9日(水) ところ 大垣フォーラムホテル

出席者 35名(正会員34名・一般聴講者1名)

大橋誠治副会長
御礼の挨拶



浅野信哉歴代から
講師紹介がありました。



北野英樹会長
挨拶



起きたことを素直に受け入れる

OJB
ひるば

一般社団法人
大垣青年重役会



第50年度 第5号 平成27年12月25日発行
URL▶ <http://www.ojb.jp>

第50年度スローガン

伝統を創造しよう

「現成受容」
今を精一杯生きる

田中真奈美



12月例会では、正眼寺住職山川宗玄老師をお迎えし、講演いただきました。禅の本質について、また生きていく事の本质について学ぶ事ができました。

私自身、禅について関心がありましたが、実際、お話を聴いたり、実践することが無かったのですが、今回、初めて座禅を経験することができました。姿勢を整え、呼吸を整え、心を整え余分な事を考えない。無になることから講演会が始まりました。すると、不思議な事に会場内の空気も丸く落ち着いたように感じられました。周りの環境も変化する事を身を持って感じる事ができました。私は、まだまだ無の境地に至れず、座禅を始めると、念が浮かんできました。無になることがとても難しかったのですが、一日の中のほんの数分、自分を見つめる時間を持つことは、心が落ち着き、自分やまわりの出来事に捕らわれないこと、物事の本質を見る眼や無限の知恵が養われていくのだと感じました。山川宗玄老師のお話の中で、物ごとを極めようと思うと、いつか限界がくる、窮したとき、極まつてしまったときに、どうしたらいいのか? その時は、しめた、良かったなと思えばいい。そこまで、行けたのは自分だけだと思えばいい、それが禅の入口だと教えていただきました。「現成受容」起きたことを素直に受け入れ、自分が持っている力を発揮していく。精一杯生きる。日頃、仏法を聴く機会がないなか、大変貴重なお話を拝聴することができましたのも北野英樹会長はじめ、役員の方々のお陰だと感じております。山川宗玄老師、大変貴重なお話をありがとうございました。本日は、ありがとうございます。

「正眼寺の
松の木のように」

川合敏博



今回の講演会を拝聴させて頂き、気持ちラクになった言葉が沢山ありました。その一つが現成受容。「起きたことを素直に受け入れる。」どんなに厳しい環境であろうとも受け入れ、頭を押さえつけられても耐え、自分の出来ることをするという事が生きるといいう事でもある。まさに今、自分が実行している事そのものではないかと心に刺さりました。思う速度で前へも進めず後退することも自分の意に反しできず一人抱え込んでいましたが山川宗玄老師に励まし後押ししてもらえた気持ちにすらなれました。この講演会に出会えた事に感謝です。

もう一つは体露金風です。肩の力を抜いて、このすばらしい秋の風景を眺めてみよう。その感動を、ありのままの姿で、ありのままに受け入れることが、禅の境地なのである。との意味もあるそうです。つまり余りに知的になり過ぎないように心し生きよとも言えるのです。これまで自分を否定する考えが多かったように思いますが、これからの人生、今の生活を肯定して、あるがままに前進したいと思えるようになりました。正眼寺の岩に生えている松の木のように私も窮する事を喜び大きく育てたらと思います。

NEWS LINE

- | | |
|-----------------------------------|---|
| 第50年度 12月例会 | 1 |
| 50年度合同忘年会・2次会
第2回長期計画委員会 詳細報告 | 2 |
| 50周年記念講演委員会 活動報告
(事前説明会・朝活読書会) | 3 |
| 今月のドネーション・お知らせ
OJB プレスリリース | 4 |

第50年度「合同忘年会」「二次会」

とき：平成27年
12月17日(木)

今年度は、栗屋町にある「日本料理 天近」にて、小林清治先輩、栗田美先輩、三輪俊明先輩、藤井重雄先輩、栗田和幸先輩、佐竹紀皇先輩、川瀬由香先輩の7名の特別会員にご参加いただき、正会員42名、総勢49名の会員で行われました。周年の話題でも大いに盛り上がり、親睦が深まりました。



一年を労いました。お疲れ様でした。



小林清治 先輩の挨拶



北野英樹 会長 始めの挨拶



大橋誠治 副会長 締めの挨拶



栗田一美 先輩 乾杯の挨拶



二次会は「ラウンジ紫苑」にて行われ、引き続き大勢の会員にご参加いただきました。参加人数47名（正会員40名 特別会員7名）



「ラウンジ紫苑」にて栗田一美先輩の「生フレーフレーコール」で50周年記念事業に向けて、意識がより一層高まりました。



みんなでキメッ!



三輪俊明 先輩 乾杯の挨拶

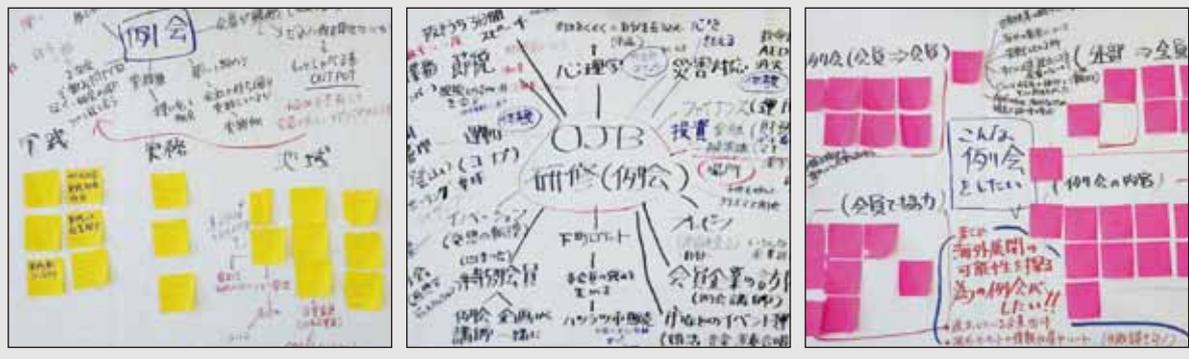


はい、ちーず!



渡部弘幸 歴代会長 中締めの挨拶

グループディスカッションをしながら、マインドマップによる各グループの「まとめ」一例です。



第2回長期計画委員会 活動報告②
我々はどこから来たのか、我々は何者か、我々はどこへ行くのか
先月号では、掲載しきれませんでした、今後の実現可能な例会及び研修について、ご意見をいただいた内容をまとめ、掲載させていただきました。皆様ご読いただき、新たな例会、研修の気づきになればと考えております。

↓ ↓ ↓

例会について

- ・アウトプット型例会（会員講師）
プレゼンテーション例会
報告・共有（成功例、失敗談等）
抜き打ち3分間スピーチ例会 etc.
- ・ディスカッション型例会
新ビジネス OJB版下町ロケット
社会問題 いじめ、離婚、時事問題等
社員教育 モチベーションアップ術
特別会員とディスカッション etc.
- ・インベーシヨン例会
違った視点を学ぶ
- ・ゲーム形式例会
全員が参加できるように
- ・時間、会場変更した例会
例会終了後、感想を話し合う

研修について

- ・経営に生かす
会計、節税、助成金セミナー
経営者研修
企業展（会員企業商品紹介、就業支援）etc.
- ・いまさら聞けないシリーズ
ビジネスマナー、冠婚葬祭マナー
食事、所作、身だしなみ
インターネット（HP、PCアプリ）etc.
- ・地域参加、歴史を学ぶ
ハツツ市出店
他団体とコラボレーション研修、活動
大垣（西濃地域）の歴史を学ぶ etc.
- ・その他（体調管理、健康増進）
体調管理（運動の効果、食育）
災害、救命救急（AED講習）etc.

より詳細をお聞きになりたい方は、長期計画委員会 委員長 奥田祐太郎、副委員長 中島繁樹 まで、ご連絡下さい。

これぞ、決起集会です！



▲ 大橋副委員長の挨拶、参加会員による円陣で気持ちが一つに！

司会進行の井納副委員長▶



趣旨説明する小倉委員長



北野会長 始めの挨拶



羽田歴代による 乾杯の挨拶



大橋副会長 締め挨拶

グループディスカッションと発表風景



グループ②

発表者 高木会員



グループ①

発表者 川瀬会員



グループ④

発表者 足立会員



グループ③

発表者 稲尾会員



記念講演委員会は記念講演会の成功という目的意識を共有するため、会員同士で語り合う場を用意しました。各グループに分かれ、見込紹介者数・申込書の配布数を自己設定していただいた他、記念講演会について様々な意見交換ができました。皆さんに当事者意識を持っていただき、講演会成功の機運を高めることができました。

50周年記念講演会成功に向けての事前説明会

【とき】平成27年11月24日(火)
【ところ】いろはにほへと 大垣駅前店 出席者 35人

「記念講演会を成功させるために私たちはなにができるか？」

当日参加者の感想



読書の大切さを認識させていただきました。朝活という今までに経験のない活動が新鮮でよかったです。

朝からアウトプットができて、とてもよかったです。当日がとても楽しかったです。

皆さんがとてもたくさん先生の書籍を読まれていることに驚きました。同じ本を読んでも人それぞれ様々な解釈があり、刺激になりました！

とても充実した時間となりました。齋藤先生の本で気になるタイトルがまたいくつもできたので、さっそく読んで、当日までに、もっと深く知っていきます。また、その魅力を入でも多くの人に発信していきます。

朝からアウトプットができて、とてもよかったです。当日がとても楽しかったです。

「記念講演委員会より」
これまで多くの方のご協力をいただいて準備を進めてきました。創立50周年記念講演会もいよいよ間近に迫っています。皆さんの力を結集して最高の講演会にしたいと思います。

自分の読んだ本の内容を他の参加者に紹介



齋藤孝先生にお聞きしたい質問をテーマにディスカッション



齋藤孝先生へのご質問

- ・今年度のOJBスローガン「伝統を創造しよう」について先生の解釈をお聞かせください。
- ・経営者・管理者として使い続けてほしい言葉とは？
- ・社員に使い続けて欲しい言葉は（挨拶・ありがとう以外で）ありますか？（著書の中で「人生の糧になった」という言い方をすることを勧めます）
- ・お子様のお名前とその想いは？（言葉を大切にされている先生の特別な想いをお聞きしたい）
- ・世界の言語に比べて日本語の特徴的な違いはどこにありますか？（独特で繊細な表現・世界観など）
- ・先生が選ぶ2015年の流行語大賞は？
- ・習慣力が大事だとのことですが、先生の朝の習慣は何ですか？（読書や執筆活動の時間をどのように捻出しているのか、またどのように朝のスタートをきっているのかをお聞きしたい）
- ・お子様とのサッカー観戦が楽しみたいと書いてありましたが、先生の一番好きなサッカー選手は？
- ・また、その理由は？（好きな選手から先生のお人柄を推察させて頂きたい）

この質問は事前に先生に送ります。講演会内でこの話が出るか楽しみです。

記念講演会をより実り多いものにするために、齋藤先生の本を事前に読んで参加できるよう読書会を開催しました。本の内容を自分の言葉で他の参加者に紹介することで、先生の考えと自身の気づきを仲間と共有しました。また、先生にお聞きしたい質問をテーマにディスカッションし、講演会に臨む意気込みが高まったのではないのでしょうか。

朝活読書会

（50周年記念講演会成功に向けて）

【とき】平成27年12月13日(日)朝7時00分
【ところ】平野学園 出席者 19人

「齋藤孝先生の考えを読書を通じて学び合おう」

■北野英樹会長
12月例会、無事に終える事が出来ました。ありがとうございます。

■上野和幸会員
松本正平会員、和菓子「つちや」社長、樋谷祐哉さんと一緒に、大垣のまちづくりについてのパネリストを岐阜経済大学で務めさせて頂きました。私だけパワーポイントで資料を作らなかったのが、胆力が鍛えられました。

■清水裕雅会員
当事務所が、実務経営ニュースの12月号に掲載されました。引き続き、注目される事務所になれるよう、がんばっていききたいと思います。

■記念講演委員会
記念講演事前説明会にたくさんの方にご出席頂きました。記念講演会成功に向けて、一致団結できたと思います。ありがとうございました。

■小倉秀樹 記念講演委員会 委員長
■井納宏自 同委員会 副委員長
■大橋博己 同委員会 副委員長
記念講演事前説明会に大勢の方に参加して頂きありがとうございます。皆様方の力を借りて千人達成をお願いします。

■松本正平 会員
日本ボランティア学会に招かれて、大垣の地域創生について元気ハツツツ市の話をしました。僕はパワーポイントをちゃんと準備して講演しました。

■長期計画委員会
第2回長期計画委員会、多くの方にお集まりいただきありがとうございます。出た案の中から今年度中につ実現したいと思えます。

「創立50周年記念大会」

とき……平成28年1月17日(日)

ところ……大垣フォーラムホテル

TEL 0584-8114171

タイムスケジュール

午後12時30分…受付開始

午後1時15分…記念講演会開始

午後3時00分…記念講演会終了

午後3時10分…記念写真撮影

午後3時30分…記念式典開式

午後4時30分…記念式典閉式

午後4時45分…記念パーティー開宴

午後6時30分…記念パーティー閉宴

記念講演会

演題

日本語力と

身体感覚をきたえる

講師・明治大学文学部教授

齋藤 孝 先生



OJB PRESS RELEASE ———— ビジネスからライフワークまで、会員の情報交換・共有スペース

Business 「人と人との関わりが仕事です」 接し方のポイント!



「経営者との関わり方」

税理士の仕事は、経営者の方との信頼関係で成り立っています。経営者の方が何を求めているかを理解し、それに沿った助言ができるよう心掛けています。そのためには顔を合わせることや経営に関する事柄に限らず、世間話などをする時間も大切にすることで、経営者の方の求めているものがわかってくると思っています。

情報提供：清水裕雅税理士事務所
清水 裕雅 会員



ともに問題解決を目指す場所です

◀「判例六法」

「ともに問題解決を目指す同志」

弁護士にとって依頼者は「ともに問題解決を目指す同志」です。依頼者が満足する形で事件が解決したときなどは自分のことのように嬉しく思います。一番重要なのは依頼者との信頼関係を構築することです。同志としてともに問題解決を図るために、依頼者としっかりと話し合いをしながら事件を進めていくように努めています。

情報提供：U.I 総合法律事務所
臼井 俊治 新入会員



「まずは、きくこと」

私の仕事は“きく”ことから始まります。症状を正確にとらえるためには患者とのコミュニケーションが大切になってきます。そこで一番気をつけていることは、まず相手の言いたい事を聞くということです。相槌を打ちながら相手の話を一通り聞くことで少しずつ気を緩めていただけるように心がけています。

情報提供：駅前接骨はりきゆう治療院くまのて
西川 可一 新入会員